

決
定

東條内閣總理大臣議會演説原稿

二月十二日連絡會議決定

既ニ大本營ヨリ發表サレマシタ通 日皇軍ハ「シンガボール」ヲ占

領致シマシタ。戰況ニ付キマシテハ陸海軍當局ヨリ報告カアリマスル
カ、私ハ此機會ニ於テ所信ノ一端ヲ申述ヘマスルコトヲ欣快トスルモ
ノテアリマス

32

畏クモ宣戰ノ大詔渙發セラルヤ、開戰勞頭忽チニシテ米英艦隊ノ
主力ヲ屬リ、僅カ二旬ニシテ香港ヲ、三旬ニシテ「マニラ」ヲ、而シ
テ六旬ニシテ「シンガポール」ヲ攻略シ、茲ニ米英兩國人多年ニ亘ル
東亞侵略ノ三大據點ハ舉ケテ我占領スル所ドナツタノテアリマス。一
方「ボルネオ」「セレベス」「ニューブリテン」等ノ要衝モ悉ク我掌
中ニ落チ、更ニ蘭印艦隊ノ主力ハ我殲滅スル所トナリ、今ヤ皇軍ハ渺

0540

茫廣大ナル地點ヲ壓シテ人類史上未タ嘗テ見サル大規模ノ作戦ニ從事シツツアルノデアリマス

此赫々タル戰勝ハ、御稟威ノ下、皇軍將兵ノ勇戰奮闘ノ賜物ニ外ナラヌノデアリマス。私ハ、茲ニ、家ヲ忘レ身ヲ忘レテ、護國ノ礎トナリタル英靈、遠ク異境ニ在ツテ或ハ傷キ或ハ病シ得タル傷病將兵、陸ニ、海ニ、空ニ竝々ナラヌ勞苦ト危險トヲ克服シテ奮戰シツツアル勇士達、而シテ又、夫ヲ、子ヲ、兄弟ヲ戰線ニ送リ彼等ヲシテ遺憾ナク活躍セシメツツ其留守ヲ守リ或ハ之ヲ助ケ、アラユル困難ニ堪ヘ忍ヒ銃後奉公ノ誠ヲ致シツツアル同胞諸君ニ對シマシテ、深甚ナル感謝ノ意ヲ表スル次第テアリマス

屢々申述ヘマシケ通リ大東亜戰爭ノ目標トスル所へ、我韓國ノ大運

想ニ淵源シ大東亞ノ各國家、各民族ヲシテ、各々其所ヲ得シメ、皇國ヲ核心トシテ道義ニ基ク、共存共榮ノ新秩序ヲ確立セントスルニ在ルノテアリマシテ、米英諸國ノ東亞ニ對スル態度トハ全ク其本質ヲ異ニスルモノテアリマス

今ヤ、曾テ米英ノ東亞侵略壓制ノ根據テアリマシタ、「シンガポール」及ヒ其他要衝ハ、大東亞諸民族ノ爲ニ、新秩序ノ建設ト其防衛ノ據點トシテ、限りナキ前途ノ希望ト榮譽ノ下ニ、甦リツツアルノテアリマス。而シテ香港、比島、「マレー」半島ノ如キハ既ニ其新建設ニ向ツテ、堅實ナル巨歩ヲ踏出シテ居ルヲテアリマス
私ハ此剝期的ノ機會ニ於キマシテ關係各民族及各國家ニ對シ帝國ノ眞意ヲ重ネテ披瀝致シタイト存シマス

皇軍ハ今ヤ「ビルマ」方面ニ於キマシテモ着々トシテ攻撃ノ歩ヲ進メ
其要衝逐次我有ニ歸シテ居リマスルカ、帝國ノ「ビルマ」進攻ノ眞意
ハ、英國ノ軍事據點ヲ覆滅スルト共ニ、米英ノ援蔭ノ通路ヲ遮断ゼン
トスルニ在ルノニアリマシテ固ヨリ「ビルマ」民衆ヲ敵トスルモノニ
ハアリマセヌ。從テ「ビルマ」民衆ニシテ、既ニ其無力ヲ暴顯セル莫
國ノ現狀ヲ正視シ、其多年ノ桎梏ヨリ離脱シテ我ニ協力シ來ルニ於テ
ハ、帝國ハ欣然トシテ「ビルマ」民衆ノ多年ニ亘ル宿望即チ「ビルマ」
人ノ「ビルマ」建設ニ對シ積極的協力ヲ與ヘントスルモノニアリマス
數千年ノ歴史ト光輝アル文化ノ傳統トヲ有スル印度モ、亦今ヤ英國人
暴虐ナル壓制下ヨリ脱出シ大東亜共榮圏建設ニ參加スヘキ絶好ノ秋テ
アリマス。帝國ハ印度カ印及人ノ印度トシテ、本來ノ地位ヲ恢復スヘ

キコトヲ期待シ、其愛國的努力ニ對シテハ敢テ援助ヲ惜マサルモノテアリマス。若シ夫レ、印度カ此歴史ト傳統トヲ省ミス、其使命ニ未タ覺醒スルコトナク依然トシテ英國ノ甘言ト好餌トニ迷ヒ其願使ニ從フ、ニ於テハ、私ハ茲ニ永ク印度民族再興ノ機會ヲ失フヘキヲ憂ヘサルヲ得ナイノテアリマス。

米英ト提携シ敢テ抵抗ヲ續クル和蘭軍ニ對シテハ帝國ハ徹底的ニ之ヲ擊滅ゼントスルモノテアリマス。然シ乍ラ「インドネシア」民族ニシテ我眞意ヲ了解シ大東亜建設ニ協力シ來ルニ於テハ其希望ト傳統トヲ尊重シ同民族ヲ米英ノ傀儡タル和蘭亡命政府ノ壓政下ヨリ解放シテ其ノ地域ヲ「インドネシア」人ノ安住ノ地タラシメントスルモノテアリ

濠洲及「ニュージーランド」モ亦頼ム可ラサル米英ノ援助ヲ期待セル
無益ノ戰争ハ之ヲ避クヘキテアリマス。今ヤ此等民衆ノ福祉ハ一ニ懸

ツテ此等政府ノ帝國ノ眞意ヲ理解シ公正ナル態度ニ出ツルヤ否ヤニ存
スルノテアリマス。歐洲ニ於テ又香港ニ於テ、更ニ「マレー」「半島」
於テ、英國カ如何ニ濠洲軍及「ニュージーランド」軍將兵ヲ利用シ如
何ナル好遇ヲ與ヘツツアルカハ、濠洲及「ニュージーランド」民衆自
ラ十分ニ之ヲ知得シテ居ル筈テアリマス。

翻ツテ眼ヲ支那大陸ニ轉シマスルニ「シンガポール」ノ陷落ニ依リ米
英ノ豪語セル對日包圍陣ノ一角ハ全ク崩壊シ、而モ島軍破竹ノ進撃
依リ所謂「ビルマート」遮断ノ日ハ近キニ在ルノテアリマス。斯クシ
テ重慶政權ハ正ニ全ク孤立無援ノ苦境ニ陥ラントシテ居ルノテアリマ

シテ、之ニ對シ帝國ハ斷乎トシテ最後ノ鐵柵ヲ加ヘントスルモノテア

リマス。然シ乍ラ度々申述ヘマシタ通り帝國ノ中華民國國民ニ對スル

態度ハ、飽ク迄モ兄弟ト考ヘ、相倚リ相扶ケテ共ニ大東亜建設ヲ行ハ

ントスルモノテアリマス。從テ一部頑迷ナル指導者ニ誤マラレテ、大

東亜興隆ノ光輝アル此ノ時期ニ於テ、中華民衆力依然トシテ、塗炭ノ

苦ミニ陷ツテ居ルコトハ帝國トシテ誠ニ遺憾ノ情ニ堪ヘナイノテアリ

マス

南米及ヒ其他ノ中立諸國ニ付キマシテハ、私ハ此等諸國力必スヤ帝國
ノ眞意ヲ了解シ、米英ニ聲制セラレテ火中ノ栗ヲ拾フカ如キ愚ヲナサ
サルコトヲ確信スルモノテアリマス

更ニ私ハ此機會ニ於キマシテ盟邦諸國ヨリ帝國ニ寄セラレツタル協力

ト厚意トニ對シ國民ト共ニ深甚ナル謝意ヲ表スルモノアリマス
即チ滿洲國、中華民國國民政府、泰國及錫印等カ常ニ帝國ト苦ヲ分チ
樂シミヲ偕ニセラレ、大東亞共榮圈建設ニ精進セラレツタルコトハ

實ニ欣快トスル所テアリマス

又獨伊ヲ始メ歐洲盟邦諸國カ帝國ト切畫ニ協力呼應シテ赫々タル戰果
ヲ擧ケ愈々世界新秩序建設ニ努力セラレツツアリマスルコトハ、眞ニ
感銘深キモノカアリマス。茲ニ其勇戰奮闘ニ對シ衷心ヨリ敬意ヲ表シ
マスルト共ニ此上共一膺其戰果ヲ擴充セラレシコトヲ祈ツテ已マナイ次
第テアリマス

今ヤ「シンガポール」ハ陷落致シマシタ。併シ之ハ大東亞戰爭遂行ノ一
階梯ヲ築キ上ケタニ過キナイノテアリマシテ、此際國民カ戰勝ニ奢リ

氣ヲ緩ムルカ如キコトハ斷シテアツテハナラナイノテアリマス。戦争
ハ正ニ今後ニ在ルノテアリマス。即チ帝國ハ此一大戰勝ヲ契機トシ愈
愈盟邦諸國トノ提携ヲ密密シ更ニ更ニ積極的作戰ヲ遂行シ以テ米英
及其追随勢力ヲ徹底的に撲滅セントスルモノテアリマス。
私ハ茲ニ「シンガポール」陷落ノ報ニ接シマシテ、全國民ト共ニ、皇
軍ノ戰勝ヲ衷心ヨリ慶祝スルト共ニ、上下心ヲ一ニシ、官民一途、國
ヲ擧ケテ、新タル認譲ト決意トノ下ニ、克ク征戰ノ目的ヲ完遂シ、
以テ一聖慮ヲ安ンシ奉ランコトヲ審フ次第テアリマス。